

令和5年度第2回佐賀市環境審議会議事概要

日時 令和6年2月8日(木)

10:00~12:00

場所 佐賀市清掃工場2階会議室

出席者

■環境審議会委員 16人(敬称略)

岡島俊哉(会長)、大渡啓介(副会長)、田中宗浩、関清彦、小城原直、草場真智子
松尾真理子、藤井律子、有森明子、高橋朋子、大石文枝、大石寛貴、中原正登、熊畑瑞枝
島崎健、多々良たまえ

(欠席:松本考司)

■事務局

宮崎環境部長

環境政策課(梶山副部長兼課長、福本係長、香田係長、石川室長、馬場主幹、小柳主任、小田)
循環型社会推進課(馬場副部長兼課長、羽立参事、王丸副課長、副島主査)

環境保全課(大家課長)

衛生センター(熊添所長、柴田副所長)

施設機能向上推進室(坂本副室長)

傍聴者

1人

議事内容

(1) 佐賀市環境審議会のスケジュールについて(事務局からの説明後、質疑応答)

【質疑】自分が所属しない部会には意見を反映できないのか。

【回答】各部会でどのような議論があったかを全体に共有し、ご意見をいただくことを考えている。

【質疑】資料の中にワイズユース計画とあるが、これは東よか干潟に関する計画か。

【回答】正式名称が「東よか干潟環境保全及びワイズユース計画」となっており、東よか干潟がラムサール条約に登録されたことに当たり、東よか干潟の環境保全、ワイズユース、交流学习の3つの柱を中心に湿地の保全に取り組んでいる。

【意見】各部会で最も良い方法には到達するかもしれないが、審議会全体としての最も良い方法というのがあるかもしれない。ぜひ部会同士の情報共有をしていただきたい。

【質疑】第2次佐賀市環境基本計画の位置づけの中には、関連計画として森林・林業再生計画とみどりの基本計画が挙げられているが、今回の策定される計画とはどのような関係になるのか。

【回答】それらの計画は農林水産部が所管しているため、今回の審議会の資料の中ではお示ししていない。

(2) 第3次佐賀市環境基本計画の策定について(事務局からの説明後、質疑応答)

【質疑】アンケート調査について、回収率30%想定とあるが、環境意識の高い市民の回答数が多くな

と思われる。環境意識の低い市民は、アンケートに回答しないため、アンケート結果は、良い意見が多く偏りがでるのではないか。また、WEB 回答も可能とは、2次元バーコードを記載するのか。

【回答】環境意識の高い市民からの回答数が多くなると思われるため、コンサルタントと考えながら、多くの市民に回答していただけるような内容にしたい。WEB 回答については、2次元バーコードを記載する。若い世代にとっては、回答しやすいと考える。

【質疑】アンケート調査票4ページの自動車に関する項目で「経済速度を心がけ、」とあるが、耳慣れない言葉である。また、調査票4ページに冷暖房の温度についての項目があるが、「設定温度」ではなく「室内温度」ではないか。また、事業所アンケートの冷暖房の項目については、「室内温度」と表記されており、市民アンケートと齟齬がある。

【回答】経済速度については、分かりやすい言葉に置き換えるもしくは、注釈を入れて対応する。冷暖房の温度の項目については、「室内温度」が適切かと思われる。市民と事業所アンケートの文言の修正を行い一致させる。

【質疑】アンケート調査票3ページの「害虫などのいないくらし」とあるが、何をもって害虫と呼ぶのか。以前、トンボを汚いという者もいた。質問の表現を変えるべきではないか。

【回答】修正する。

【質疑】アンケート調査票3ページ「害虫などのいないくらし」は、どういう意図で質問しているのか。

【回答】蚊などについて、市民の現在の施策に対する満足度や重要度を確認するような意図で設定している。また、「害虫」という表現ではなく、具体的な言葉にしたいと考える。

【意見】生物多様性で昆虫や生き物がたくさん生息することは悪いことではない。蚊の発生は、排水処理などに起因するということもあるのかなと思う。重要な問いなので、慎重に質問の仕方を検討したほうが良い。

【質疑】アンケート調査票3ページ「ごみになりにくい商品づくり」とあるが、具体的にどのような商品なのか。また、どういう意図で質問しているのか。

【回答】プラスチック製品やパックなど、すぐにごみになるものを想定している。プラスチックごみに関する市民の関心の度合いや施策の満足度などを確認する意図で設定している。

【質疑】市民ではなく企業に対する質問なのではないか。また、「ごみになりにくい商品」の具体例を記載すべきではないか。

【回答】まずは、市民の関心度を確認し、企業に対して発信する必要があると考える。表現は分かりやすく修正する。

【意見】スーパーマーケットでの取り組みとして、ラベルレスのペットボトルや、木材のスプーン、紙の容器などを取り入れている。

【意見】今回のアンケート内容は、市民の環境意識の醸成となる。将来的に、市のホームページなどに掲載し、多くの市民に見てもらいたい。

【意見】毎朝、会社の前を清掃しているが、たばこや空き缶などのポイ捨てが多くみられる。野良猫にあげたエサのごみなども落ちている。ポイ捨てをしている市民の意識を問うような内容も取り入れてほしい。

【回答】追加を検討したい。

- 【意見】 アンケート調査票 3 ページについて、5 段階評価となっているが 4 段階評価にしてはどうか。具体的には、「どちらとも言えない・今のままでよい」の選択肢をなくす、「あまり」という言葉を取るなど。そうすることで、回答者の考えるきっかけになると考える。
- 【回答】 アンケートの回答方法については、4 段階評価の導入も検討したい。
- 【意見】 アンケート調査票 5 ページに次世代自動車や断熱住宅の購入という項目があるが、市民にとって費用負担が大きく、取り組みたくてもできない。質問としてふさわしくないのではないか。
- 【回答】 参考にさせていただく。
- 【意見】 調査については、紙の調査票ではなくすべて WEB でも良いのではないか。
- 【回答】 郵送と WEB を併用することで、WEB が苦手な方でも回答できるようにしたい。
- 【意見】 環境基本計画の基本理念に「トンボ飛び交うまち」とあるが、市内にはトンボ以外にも鳥や蝶なども多く生息している。佐賀市は自然が豊かで、水のまちというのも大きなポイントだと考えるので、そこも含めてアピールしていただきたい。

(3) 第 3 次佐賀市地球温暖化対策実行計画の策定について(事務局からの説明後、質疑応答)

- 【意見】 佐賀市の環境施策に関して市報へは掲載していると思うが、市民がこれを見ているかは疑問である。武雄市の SNS は市民目線で分かりやすい。他にも、芸人とごみ収集を兼務されている方の SNS は全国で見られており、ごみの分別について改めて知ることもある。佐賀市ももっと SNS を活用すべきではないか。アンケート調査も SNS を活用することで回収率が高くなると考える。
- 【回答】 佐賀市でも SNS を活用しており、東よか干潟ビジターセンターひがさすでは、頻繁に情報発信をしている。また、佐賀市公式スーパーアプリにより、ごみ処理に関する情報を発信している。SNS の活用については、アンケート調査への活用も含めて参考とさせていただく。
- 【質疑】 計画の目標年度が 2030、2034、2050 年とあるが、2030 年度に計画の見直しを考えているのか。
- 【回答】 中間年度の 5 年で見直しをする可能性はある。目標を達成するために途中での見直しや施策を考える必要はあると考えている。
- 【質疑】 資料 8 ページの 2050 年の目指すべき姿で「園芸施設の脱化石燃料」とあるが、脱化石燃料によって農家の収入減少などの問題につながるため、本当に可能なのか疑問である。資料 10 ページ以降に出てくるデータは、国のデータか、佐賀市のデータか。
- 【回答】 現在、農業振興課と協議を進めている。担い手の問題に対しては、スマート農業を取り入れていくことが必要と考えている。また、太陽光や蓄電池を設置して作物の栽培に活用するソーラーシェアリングについて JA と協議できるのではないかと考える。資料のデータについては、佐賀市の数値である。
- 【質疑】 再生可能エネルギーに依存した計画になっていると思う。排出量全体のうち家庭の占める割合は大きく、削減するためには、設備投資が必要になると思われる。今後、補助金などを用意していくのか。
- 【回答】 国で交付金などが用意されているが、条件などがある。市単独で公金を付けるのは難しいため、情報を収集しながら、交付金を確保していきたい。

【意見】 目標の実現に向けては協働や行動変容が重要である。また、バックキャストしたときに実現可能かについては、地球温暖化対策検討部会において中心的な項目になると思う。

(4) 佐賀市一般廃棄物処理基本計画について(事務局からの説明後、質疑応答)

【意見】 なし

その他

【質疑】 災害対策は別部署か。環境問題、特にゼロカーボンには関係があると考ええる。

【回答】 災害対策については、危機管理防災の担当セクションもあるが、全庁で取り組んでいる。その中で、この地球温暖化の問題が災害にも繋がっているという話は、色々な機会を通じて、全庁的に伝えている。

【質疑】 資料4の中に「水とみどりのあふれるまち」という言葉があるが、河川はだんだんと汚れてきており、水も少なくなっている。これに関して佐賀市としてどう考えているのか。

【回答】 河川の担当部署でもその問題は捉えていると思うが、今後も対策に努めていく必要があると考えており、現行の環境基本計画の基本目標に設定している。佐賀市にとって水との関わりは深いので、生物多様性の観点からも関係部署と連携を取り、審議会の意見も伺いながら、次期計画に反映していきたい。

【意見】 先日多布施川の水際の植物が数百メートルにわたり取られていた。水を流すためには仕方がないが、完全に植物を取っていたので、トンボや魚が相当数犠牲になっていると思われる。佐賀市環境基本計画の理念で「トンボ飛び交うまちさが」を掲げているので、関係部署同士で連携して、もう少し市の意見も反映させながらやっていただきたい。

【回答】 担当部署をお調べし、ご意見を伝える。環境に関しては佐賀県と佐賀市は連携を取って事業を進めている。